



経営力

経営力の強化と技術力の向上
を目指して

技術力

日本建設業経営協会(日建経)

日建経は、同業種・同規模かつ全国組織の団体であることのメリットを生かし、会員共通の課題への取り組みや、情報交流活動に力を入れています。

日建経は、我が国の中堅建設業者が結集し、会員各社が自らの企業経営の改善につとめることにより、企業資質の向上を図り、中堅建設業の存在意義とその役割を社会に訴求していくことを目的に設立された団体です。

昭和51年1月26日 設立
平成23年12月1日 一般社団法人移行



研修会・講演会

経営の健全化・経営力強化への主な取り組み

●調査研究活動

常置委員会(総務委員会・経営委員会・技術委員会)には、全会員がいずれかの委員会に所属し、会員企業が抱える経営上の諸課題を調査研究しています。

併せて、各部会委員が直接情報交換するホットラインの構築も進めています。

特長 経営研究部会では、各企業の部課長クラス総勢約30名が参加し、
① 職員管理コース ② 法務法令コース ③ 購買力強化コース ④ 税務・財務コースの
4つのコースに別れ、毎月、諸問題の解決策を話し合っています。
また、購買力強化コースでは、共同資材購入の試行をしています。

●代表者会議(研修会・講演会)

会員企業の代表者が全員一堂に会し、経営力向上に資する多方面の情報を交換し、意見交換を行うことが出来ます。

特長 会議では、最新の情報が得られるだけでなく、直接、講師との意見交換、会員同士の意見交換を行っています。

●会員交流会

代表者、経営幹部をはじめ、経営研究部会の部員等が参加し、会員同士が自由に情報交換できる会員交流会を年2回開催しています。



会員交流会

中央技術研究所(中技研)

中技研は、施工技術レベルアップのための活動を実施しています。併せて会員相互の技術情報交換のためのホットラインの構築を目指しています。

中技研は、日建経の附属機関として、中堅建設業の共通の技術的課題を研究し、解決を図るとともに、個々の会員各社の技術開発に資することを目的として設立された共同研究機関です。

昭和62年6月15日 日建経の附属機関として設立
平成 4年6月11日 日建経技術研究センター竣工



会員技術フォーラム

技術力向上への主な取り組み

●共同研究・共同実験

東京電機大学との産学共同実験施設「日建経技術センター」を活用した研究のほか、共同研究・共同実験を通じて、性能・特性の検証、データ収集・分析等を行っています。

●技術相談

土木建築の専門家(工学博士、一級建築士、技術士、構造設計士)が会員のニーズに応え、現場支援を行うほか、設計や技術部門の支援業務としてトラブル解決の対処方法、未然防止に寄与するコンサルティングを行っています。

その他、会員企業に対する技術提案や設計照査、第三者技術評価を行っています。

特長 会員は必要な時に適切な相談が受けられます。

●技術研修・交流

中堅ゼネコンの視点から実務で役立つ内容について会員技術者向けに特別講演会・技術講習会、現場見学会を企画開催するほか、資格取得のための、「寺子屋式技術士養成塾」「一級建築施工管理技士」「一級建築士」の試験対策講習会を開催しています。

また中堅ゼネコンが実施した施工事例や開発技術・工法を持ち寄りその特徴や成果を報告する「日建経会員技術フォーラム」「中央技術研究所研究発表会」を開催し、技術の交流に寄与しています。



技術相談(地盤調査)